

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2017-5031(P2017-5031A)

【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2015-115062(P2015-115062)

【国際特許分類】

H 0 5 K 5/03 (2006.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/04 (2006.01)

B 4 1 J 2/47 (2006.01)

B 4 1 J 29/13 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 5/03 A

G 0 3 G 21/16 1 4 7

G 0 3 G 21/16 1 3 3

G 0 3 G 15/04

B 4 1 J 2/47 1 0 1 Z

B 4 1 J 29/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月19日(2018.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装置本体の筐体の一部を形成する本体カバーと、

該本体カバーの内側に配置され、前記装置本体の構造体に固定されるユニット装置とを備える筐体装置において、

前記ユニット装置は、三箇所以上の支持部で前記構造体に支持され、

前記本体カバーの少なくとも一部が前記装置本体の内側に変位するように前記本体カバーが変形したときに、前記本体カバーの変位した部分と、前記ユニット装置とが接触するカバー変形時接触部が、前記支持部を仮想直線で結んで形成される仮想多角形の内側に位置することを特徴とする筐体装置。

【請求項 2】

請求項 1 の筐体装置において、

前記カバー変形時接触部として、前記本体カバーの内側に突起部を備えることを特徴とする筐体装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の何れかに記載の筐体装置において、

前記カバー変形時接触部として、前記ユニット装置における前記本体カバーとの対向面に突起部を備えることを特徴とする筐体装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の筐体装置において、

前記ユニット装置は、前記本体カバーとの対向面を形成するユニットカバーを備え、

前記ユニットカバーの少なくとも一部が前記ユニット装置の内側に変位するように前記ユニットカバーが変形したときに、前記ユニットカバーの変位した部分の内側の面に接触するユニットカバー変形接触部を前記ユニット装置が備えることを特徴とする筐体装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の筐体装置において、
前記ユニット装置を複数備え、
複数の前記ユニット装置のそれぞれと、前記本体カバーと、について前記カバー変形時接触部を備えることを特徴とする筐体装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 の何れかに記載の筐体装置において、
前記本体カバーは、上面カバーであることを特徴とする筐体装置。

【請求項 7】

電子写真方式の画像形成装置において、
請求項 1 乃至 6 の何れかに記載の筐体装置の構成を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】

請求項 7 の画像形成装置において、
前記ユニット装置は、潜像担持体に露光光を照射する書込ユニットであることを特徴とする画像形成装置。